

3年ぶりに幹事会懇談会開催

5月20日、今年度の通常総会後初となる幹事会が開催され、これに続いて3年ぶりとなる幹事会懇談会が日本工業倶楽部大会堂にて行われた。幹事会懇談会は新型コロナウイルスの影響により2019年以來の開催。感染対策のため、従来のような立食形式での開催はかなわず、ソフトドリンクのみでの歓談となったが、石村和彦副代表幹事の

発声による乾杯で開会した。久しぶりの対面での懇談会は、新任副代表幹事、新任幹事をはじめとした多数の参加もあり、かつてと変わらない賑やかな交流が見られた。予定時間を過ぎても話は尽きることなく今年度の幹事会の活性化を予感させる場となり、「今日のこの熱気は、これからの日本経済の熱気に

つながっていくと感じた」との、間下直晃副代表幹事の挨拶をもって閉会した。



ウクライナ政府への支援を実施

困難な状況が続くウクライナ国民に向けて、平和的な支援を行いたいとの思いから、ウクライナ政府に向けた食料品の寄付を実施した。災害が多い日本では非常時の備えとして長期保存食が普及しており、こうした食品の提供が少しでもウクライナの皆さんの助け

となることを願っている。在京ウクライナ大使館に寄付をしたのは、容器にお湯または水を注ぐだけで食べることができるアルファ米。100%国産米を使用しており5,000食分を用意した。寄付品は、日本政府がウクライナ政府に寄付する食料品などと共に現地に輸送さ

れ、5月12日、ポーランド・ワルシャワでウクライナに引き渡された。ウクライナの皆さまが安心して暮らせる日々が、一日も早く戻ってくることを、心より願っている。

連合との幹部懇談会

6月7日、本会と日本労働組合総連合会(以下、連合)との幹部懇談会を都内で開催した。オンライン参加者も含めて、本会からは16人、連合からは15人が出席した。懇談会では、まず、山中しのお連合副会長より、ジェンダー

平等・多様性の取り組みについて、伊達美和子副代表幹事・観光再生戦略委員会委員長より、ウィズコロナ社会に向けた新たな働き方の一つであるワーケーションの普及について報告を行った。その後の意見交換では、本会から、育

児休業中の昇進・昇格のような女性活躍推進の好事例を企業間で共有することなど、連合から、ワーケーションなどの多様な働き方と労働時間管理の問題などについて意見があり、活発な議論が行われた。

No.849 June 2022 経済同友 6

C O N T E N T S

特集

産業懇談会の魅力と新しい取り組み 03

CLOSE-UP 提言

国家ガバナンスPT【提言】
秋池 玲子 委員長
企業・経営者の視点から
国家ガバナンスの課題・あり方を俯瞰し
国民的な議論の土台を提供 12

財政・税制委員会【意見】

竹増 貞信 委員長

官民の適切な役割分担の下
既得権益を乗り越え経済成長と
持続可能な財政を両立する 14

Doyukai Report

中部経済同友会幹部との
合同懇談会を開催 16

Seminar

第1351回 会員セミナー
デジタル資本主義時代の欲望のパラドクス
丸山 俊一 氏 NHKエンタープライズコンテンツ開発部
エグゼクティブ・プロデューサー/東京藝術大学 客員教授 18

Column

私の一文字 清水 新一郎
「『感じる』その瞬間を大切に」 02

リレートーク 吉田 浩一郎
「大企業の副業、ビッグバンの時代」 11

私の思い出写真館 芳賀 日登美
「フィールドトリップの魅力!」 23

新入会員紹介 19

会合運営に関する基本方針 21

3年ぶりに幹事懇談会開催 22

ウクライナ政府への支援を実施 22

連合との幹部懇談会 22